

凡例

1. 「第Ⅰ部 通史編」及び「第Ⅱ部 組織史編」は、『埼玉大学五十年史』の補遺版として、1999（平成11）年4月から2019（平成31・令和元）年3月までの埼玉大学20年間の歩みを記述しているが、経緯等の記述を必要とする部分については、この期間以外も記述の対象とした。
2. 「第Ⅲ部 資料編」も原則として1999（平成11）年4月から2019（平成31・令和元）年3月までの資料を収録しているが、年表・統計資料については、経年的な変化を確認するために、創立以来の内容を収録している。
3. 年号は、原則として西暦年号を用い、和暦を（）で付した。
4. 人名は、原則として敬称を省略した。